

平成23年9月8日

福島県相馬港湾建設事務所
東北地方整備局小名浜港湾事務所
福島海上保安部

相馬港の供用施設追加について

相馬港では、東日本大震災による被災後、各施設の早期復旧に努めておりますが、平成23年9月9日午前6時より、下記のとおり利用可能な岸壁を追加します。

記

追加した利用可能な係留施設

1号ふ頭第4号岸壁

※船舶が係留できるようになりますが、エプロンの使用には重量制限等があります。

その他、1号ふ頭第1号岸壁、1号ふ頭第3号岸壁及び2号ふ頭第4号岸壁が、既に供用再開しています。

【留意事項】

- (1) 相馬港及び周辺海域には、漂流物、瓦礫等の水中障害物が依然として存在するおそれがありますので、船舶の航行に当たり十分注意してください。
- (2) 相馬港入出港の航行径路は、北航路とします。
- (3) 東日本大震災により沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。

【問い合わせ先】

福島県相馬港湾建設事務所	電話 0244-36-5029
東北地方整備局小名浜港湾事務所	電話 0246-53-7100
福島海上保安部	電話 0246-35-3450

相馬港 施設復旧状況 (平成23年9月9日 6:00現在)



福島県 相馬港湾建設事務所
 福島海上保安部
 国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

- : 利用可能な係留施設
- : 利用可能な係留施設(エプロンの使用には重量制限あり)
- : 調査中

【留意事項】

【港内の静穏度】
 東日本大震災により、沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。

【水深減少について】
 相馬港内では、水深減少が次のとおり認められています。

①北航路口部
 障害物が存在しており、周辺の水深-17mに対して、最大3m程度の減少がみられます。

②北航路
 -15mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられます。

③-14m航路
 -14mの計画水深に対して、最大2m程度の減少がみられます。

④-12m泊地
 -12mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられます。

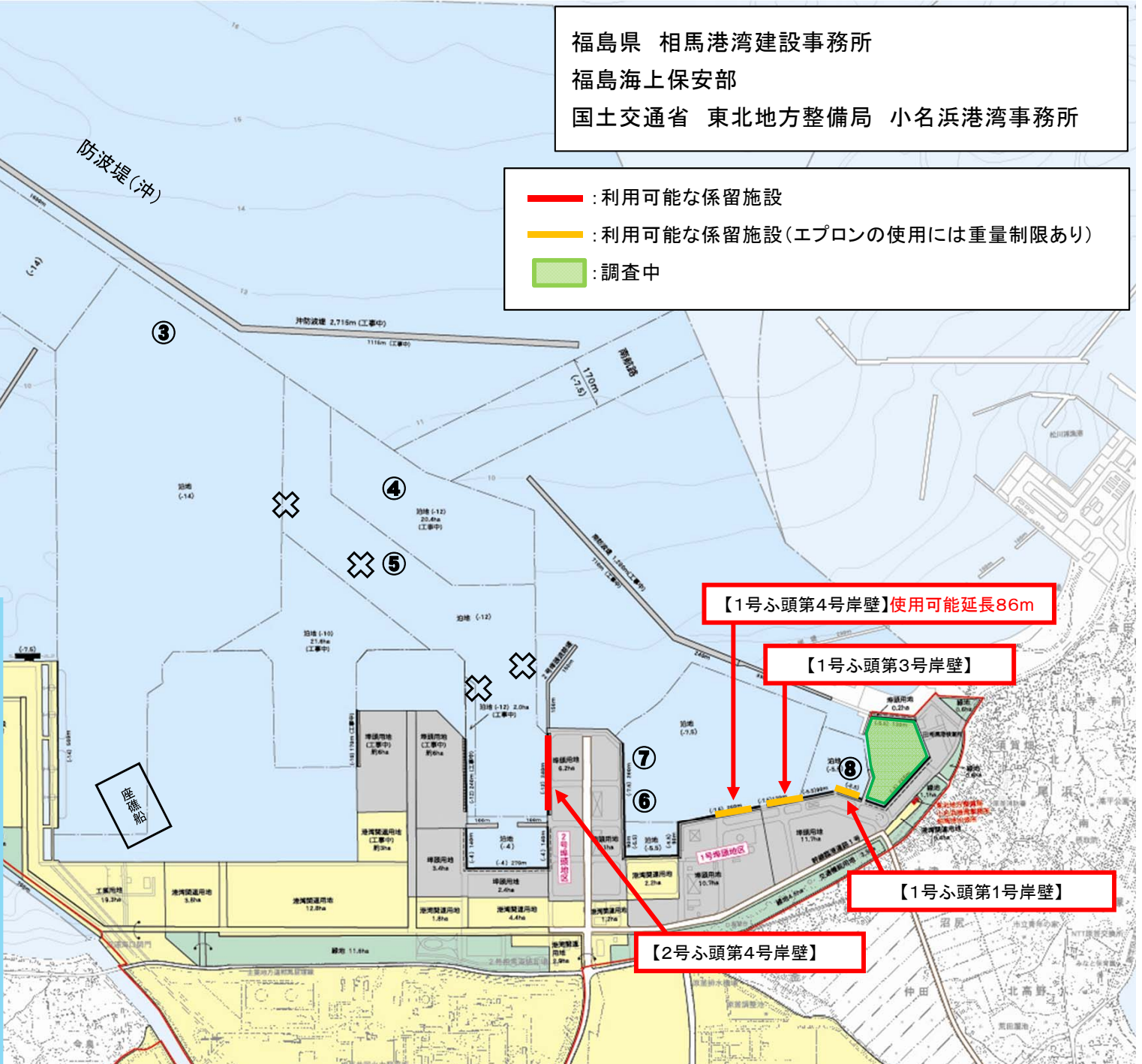
⑤-12m航路
 -12mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられます。

⑥-7.5m泊地(2号ふ頭第2号岸壁前面)
 -7.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられます。

⑦-7.5m泊地(2号ふ頭第3号岸壁前面)
 クレーンが倒壊し一部水没している。

⑧-5.5m泊地
 -5.5mの計画水深に対して、最大0.5m程度の減少がみられます。

【灯付浮標撤去等】
 東日本大震災の影響により、×地点の灯付浮標は撤去・流出しています。



【1号ふ頭第4号岸壁】使用可能延長86m

【1号ふ頭第3号岸壁】

【1号ふ頭第1号岸壁】

【2号ふ頭第4号岸壁】

お知らせ（相馬港入出港の際の留意事項）

平成23年9月8日

福島県相馬港湾建設事務所
東北地方整備局小名浜港湾事務所
福島海上保安部

- 1 相馬港及び周辺海域には、漂流物、瓦礫等の水中障害物が依然として存在するおそれがありますので、船舶の航行に当たり十分注意してください。
- 2 相馬港入出港の航行径路は、北航路とします。
- 3 相馬港内では、別添図のとおり水深減少が認められています。
 - ① 北航路入口部
障害物が存在しており、周辺の水深－1.7mに対して、最大3m程度の減少がみられる。
 - ② 北航路
－1.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられる。
 - ③ －1.4m航路
－1.4mの計画水深に対して、最大2m程度の減少がみられる。
 - ④ －1.2m泊地
－1.2mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられる。
 - ⑤ －1.2m航路
－1.2mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられる。
 - ⑥ －7.5m泊地（2号ふ頭第2号岸壁前面）
－7.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられる。
 - ⑦ －7.5m泊地（2号ふ頭第3号岸壁前面）
クレーンが倒壊し一部水没している。
 - ⑧ －5.5m泊地
－5.5mの計画水深に対して、最大0.5m程度の減少がみられる。
- 4 東日本大震災により沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。
- 5 相馬港で航行可能な水域及び利用可能な係留施設は、次のとおりです。
 - (1) 航行可能な水域
調査中の水域を除き、制限はありませんが、港内には水中障害物や座礁船が存在することから、航行には十分注意してください。
 - (2) 利用可能な係留施設（別添図参照）

名 称	延長(m)	水深(m)	備考
1号ふ頭 第1号岸壁 第3号岸壁 第4号岸壁	90m 130m 130m	－5.5m －7.5m －7.5m	公共ふ頭 エプロンの使用には重量 制限あり 第4号岸壁の使用可能 延長は86m
2号ふ頭 第4号岸壁	240m	－12m	公共ふ頭